

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- * 個に応じた指導と支援の充実（情報の共有化と協力体制づくり）
- * 規範意識の醸成、目標への挑戦（つよさ）
- * 響き渡るあいさつ、ピア・サポート活動の充実（やさしさ）
- * 全ての職員で一人一人の子どもを育てる

【未然防止】

- * 日々の授業で、子ども同士の相互理解の場をつくる。「あたたかく聴く するどく聴く」
- * あいさつが響き渡り、あたたかなかわりができるように指導する。
- * 友だちの良さに目を向け、お互いを認め合う人間関係づくりに努める。

【早期発見】

- * 授業の中での子どもの表れから、心の変化を見取る。また、子どもたちの人間関係をより詳しく把握するために、休み時間や放課後の過ごし方にも目を配る。
- * 日記や本読みカードなどから子どもの心の変化を読み取る。
- * 保健室と連携し、保健室での子どもの表れについての情報を全職員で共有する。
- * 打ち合わせ等で子どもの表れについての情報交換を行う。
- * 6月、10月、2月に学校生活アンケートを実施し子どもたちの悩みを把握する。

【早期対応】

- * 事実確認をしてから複数の職員（生徒指導主任・管理職を含む）で共有し、対応する。
- * 重大事案については、ケース会議を行い、必要に応じて関係機関と連携を図り、すばやく対応する。

【PTAや地域との連携】

- * 学校評価アンケートを活用し、よりよい指導に生かす。
- * 日々の連絡帳などで保護者との情報交換に努める。
- * 地域の方々に子どもの様子を見守っていただきながら、よい表れだけでなく、気になる表れも連絡していただく。
- * 行事等の機会に直接参観していただくようにする。

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- * あいさつや言葉遣いについて考える時間を設定する。
- * 人間関係について考える道徳の授業を行う。
- * ペア活動や縦割り活動を通して、相手のことを考えてかかわり合い、支え合うピア・サポート活動ができるようにする。
- * 人間関係づくりプログラム等を活用する。

【いじめ対策委員会】

- 委員
- ・ 校長
 - ・ 教頭及び教務主任
 - ・ 生徒指導主任
 - ・ 特別支援教育コーディネーター
 - ・ 養護教諭・学級担任・PTA代表
 - ・ スクールカウンセラー
 - ・ 学校支援相談員
 - ・ 巡回相談員

【職員研修・指導体制】
【取組等の点検】

- * 子どもの姿で語る校内研修。
- * 「子どもを語る会」の開催。また、小規模校の特性を生かし、日頃から全校児童について情報交換する。
- * スクールカウンセラーを交えての児童理解の研修。
- * 各種研修会への参加と学んだことのフィードバック。
- * 生徒指導体制を教育課程アンケートで見直していく。

【関係機関との連携】

- ・ 適応指導教室
- ・ 通級指導教室
- ・ 中央児童相談所
- ・ 警察（サポートセンター）
- ・ 子ども家庭課
- ・ 子ども発達支援センター